

# I 広島市立大学COC+の概要

## 1 事業の目的・実施年度

事業協働地域(広島広域都市圏及び尾道市)の課題である人口流出を、観光資源の活用によって改善することを目指し、全学共通系科目及び学部専門科目を体系的に再編成することで、「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付き、地域の発展に貢献する人材」を育成し、課題解決に資する能力を養成する。

実施年度は、平成 27 年度から令和元年度まで(2015 年度～2019 年度)の 5 年間。

## 2 事業協働地域

本COC+事業は「広島広域都市圏」及び尾道市を対象地域としている。

「広島広域都市圏」を構成する 24 市町 (広島市・呉市・竹原市・三原市・大竹市・東広島市・廿日市市・安芸高田市・江田島市・山口県岩国市・山口県柳井市・安芸太田町・北広島町・府中町・海田町・熊野町・坂町、※大崎上島町、世羅町、山口県周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町)。

圏域に隣接し、市立大学を持つ尾道市の参加を得て、全体として 25 市町の行政区域をエリアとした。

## 3 事業協働機関

本COC+事業に協働して取り組む大学、自治体、経済団体・企業等の機関は、平成 29 年 12 月に一般社団法人しまなみジャパンが新たに参加し、66 機関となった。

本学を含め全 67 機関で実施している。

### ■大学等 8 校 (COC+大学である本学を含め全 9 校)

広島大学(COC校)、尾道市立大学、広島経済大学、広島工業大学、広島国際大学、広島修道大学(COC校)、安田女子大学、広島商船高等専門学校(COC校)

(平成 29 年 6 月に、事業の一部を協力する大学として、比治山大学が参加した。)

### ■自治体 25 市町

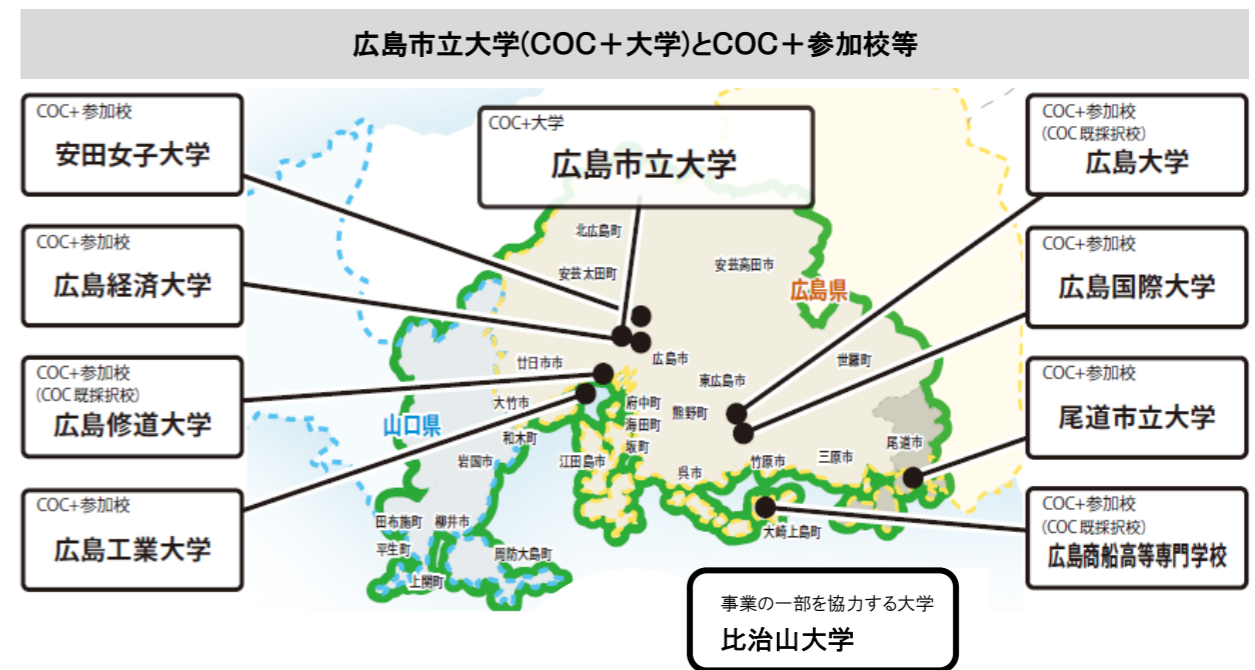
### ■経済団体・企業等 33 機関 (五十音順)

【経済団体】(一社)中国経済連合会、広島商工会議所、広島経済同友会、広島県経営者協会

【企業等】オタフクソース(株)、(一社)尾道観光協会、呉信用金庫、(株)グリーンヒルホテル尾道、(公財)コミュニティ未来創造基金ひろしま、山陽工業(株)尾道国際ホテル、(一社)しまなみジャパン、(株)中国新聞社、西中国山地観光施設等連絡協議会、日工(株)、(株)ハイエレコン、(公財)広島観光コンベンションビューロー、(株)広島銀行、広島市信用組合、(公財)広島市文化財団、広島信用金庫、広島電鉄(株)、(株)広島東洋カーブ、広島日野自動車(株)、(公財)広島平和文化センター、(株)福屋、(株)プリンスホテルグランドプリンスホテル広島、(株)ホテルグランヴィア広島、(株)ホライズン・ホテルズ ANAクラウンプラザホテル広島、マツダ(株)、(株)もみじ銀行、(株)山本屋、特定非営利活動法人キャリアプロジェクト広島、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター



- 加入経緯 平成 27 年 7 月 1 日の補助申請時には 18 市町であったが、その後、平成 27 年 12 月 24 日に、左記※印以下の 7 市町が事業協働自治体として加入している。
- 対象地域の呼称 対象地域は広島県と山口県にまたがる 25 の自治体で構成されていることから、「広島・山口 Area25」という呼称を設定した。
- 広島広域都市圏 広島市の都心部からおおむね 60km、車で約 1 時間の圏内の、経済面や生活面で深く結び付いている 24 市町で構成。国の「連携中枢都市圏制度」に依拠し、平成 28 年 3 月に策定した「広島広域都市圏発展ビジョン」により、地域の資源を圏域全体で活用する様々な施策を展開することで、圏域経済の活性化と圏域内人口の 2060 年での 200 万人維持を目指す取組を進めている。本COC+事業は、こうした地域政策との連携を基本として進めている。



## 4 事業計画の内容

### (1) 事業名称「観光振興による『海の国際文化生活圏』創生に向けた人材育成事業」

本COC+事業は人材の育成を主目的としている。

地域に定着し活躍する人材を育てるためには、学生が25の市町の多彩な魅力を認識し、「この地域に暮らして自己実現が可能である」というイメージを抱くことが前提となる。そのため、地域志向の教育プログラムにより、地域を学習し、現場に出向いて多くの人に会い、様々な活動を体験することが重要になる。

また、事業のテーマを「観光振興」とすることで、学生は観光資源にとどまらず、歴史や文化、人の交流や活性化の状況等、幅広く地域にふれ、知見を深めることができる。こうしたことにより、「地域に愛着と誇りを持ち、地域に貢献する」人材の育成を目指す。

### (2) 人材育成の目標

地域の課題解決のために修得すべき能力を「①地域の特性や課題を理解した上で、②課題解決の方法を総合的視野から企画し、③その実践に必要なネットワークを形成・調整しながら、④自らの専門性を効果的に発揮する能力」とし、育成するための教育プログラム等を広島市立大学や参加大学の特色を活かしながら展開する。

### (3) 事業の柱となる4つの取り組み

#### ① 地域志向型の教育カリキュラムの整備・推進

広島を知る、感じる、問う、挑戦する、の4段階で構成するカリキュラムへの地域特定科目の新設、関連する既存科目の拡充など

#### ② 観光関連データベースの構築・活用

人材育成教育や観光振興策の提案等に活用するため、観光関連情報を網羅的に集積し活用

#### ③ アートプロジェクト等の教育研究事業の実施

本学芸術学部を中心として参加大学と連携したフィールドワーク等の教育研究事業の展開

#### ④ インターンシップの強化

地元企業等によるインターンシップの受け入れ強化

観光振興による「海の国際文化生活圏」創生に向けた人材育成事業

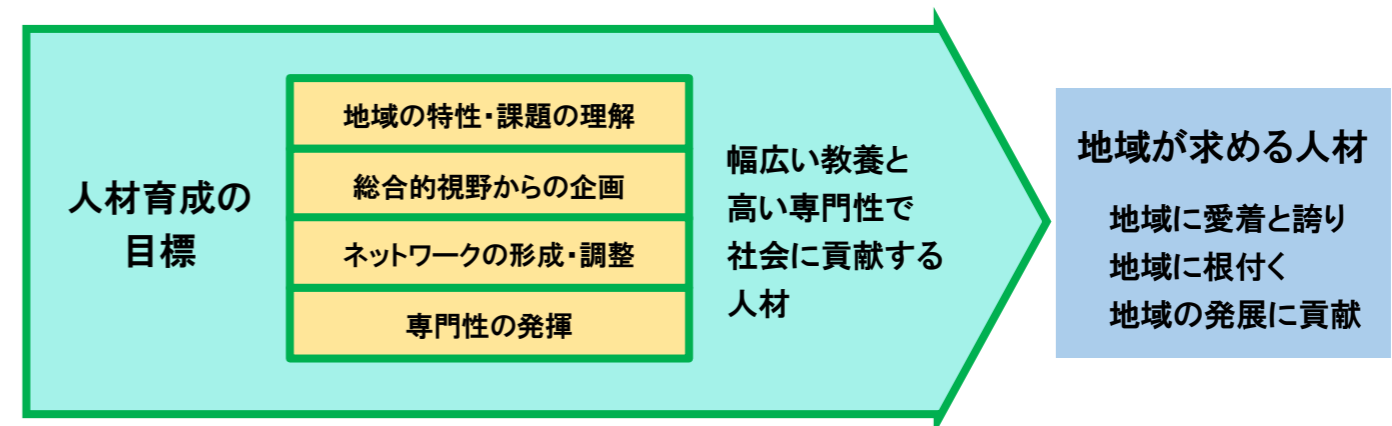
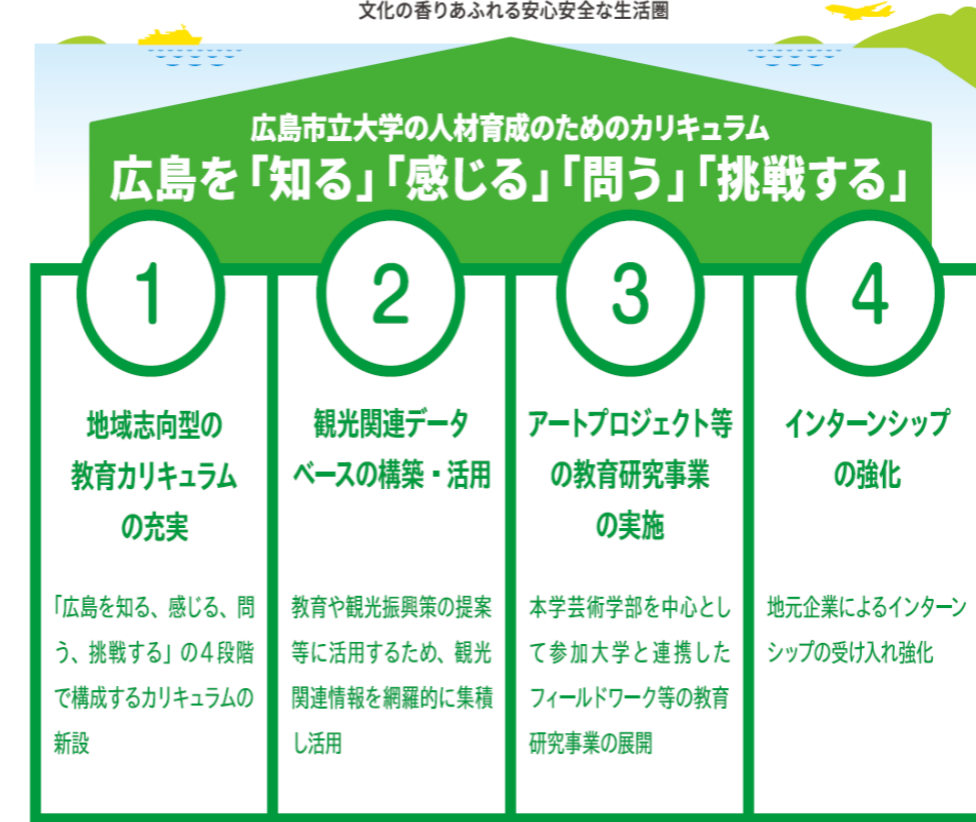
育成する人材像：ひろしま地域リーダー

## 地域の観光振興に貢献する人材



地域の将来像：「海の国際文化生活圏」

瀬戸内ゾーンから中山間ゾーンまで、圏域全体を国内外から多くの人々が訪れ交流する、文化の香りあふれる安心安全な生活圏



## 5 実施体制

事業を推進するため、学外と学内に右図の体制を整備した。

### (1) 学外の体制

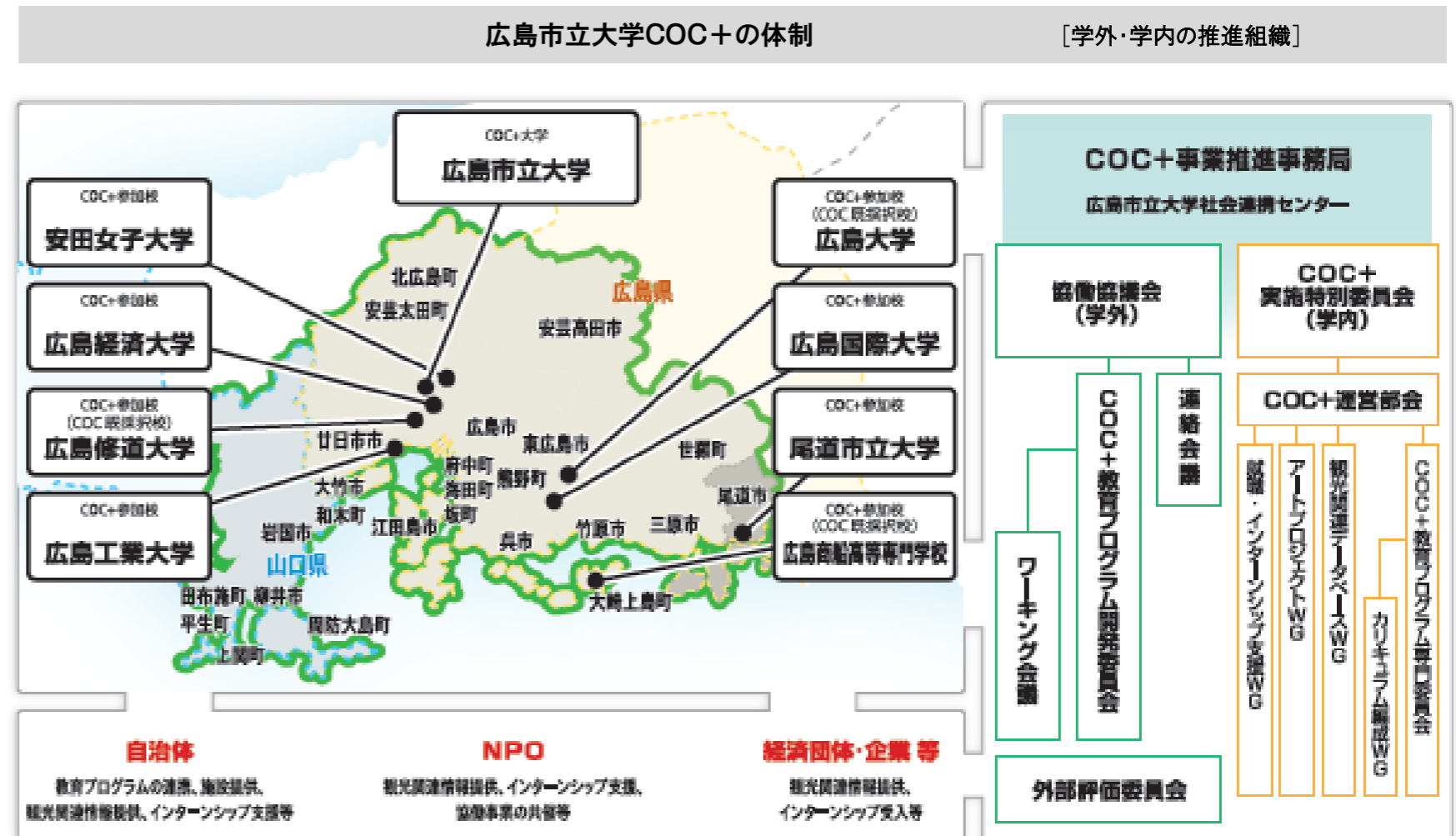
本事業は文部科学省への補助申請時に、大学、自治体、経済団体・企業等の参加同意を得て、事業協働機関を設置することとなり、補助採択後、平成 27 年 12 月 24 日、65 機関の参加を得て、「観光振興による地域創生に向けた人材育成事業協働協議会」を設置した（現在は 66 機関が参加）。この協働協議会には大学、自治体、経済団体・企業等の代表者による「連絡会議」、さらに、人材育成を進める教育プログラムについて検討するため「COC+事業教育プログラム開発委員会」と大学、自治体、経済団体・企業等の代表者による「ワーキング会議」を設置した。

### (2) 学内の体制

理事長・学長を委員長とする「COC+実施特別委員会」を設置し、事業の実施計画、運営管理等、事業の推進にあたり重要な事項を審議した。また、専門的な事項を検討するため「COC+事業運営部会」を置き、また、教育プログラムに関する事項を実施するため「COC+教育プログラム専門委員会」、その委員会の下にカリキュラムに関する専門的な事項を検討する「カリキュラム編成ワーキンググループ」を置いた。また、観光関連データベースの構築及び管理・運営をする「観光関連データベースワーキンググループ」、アートプロジェクトを企画・実施する「アートプロジェクトワーキンググループ」、就職・インターンシップに関する事項を企画・実施する「就職・インターンシップワーキンググループ」を置いた。

#### ■事務局

本学において社会貢献活動の中心的な役割を担う部署である「社会連携センター」に、COC+を推進する事務局スタッフ(教員 6 名)を置いた。



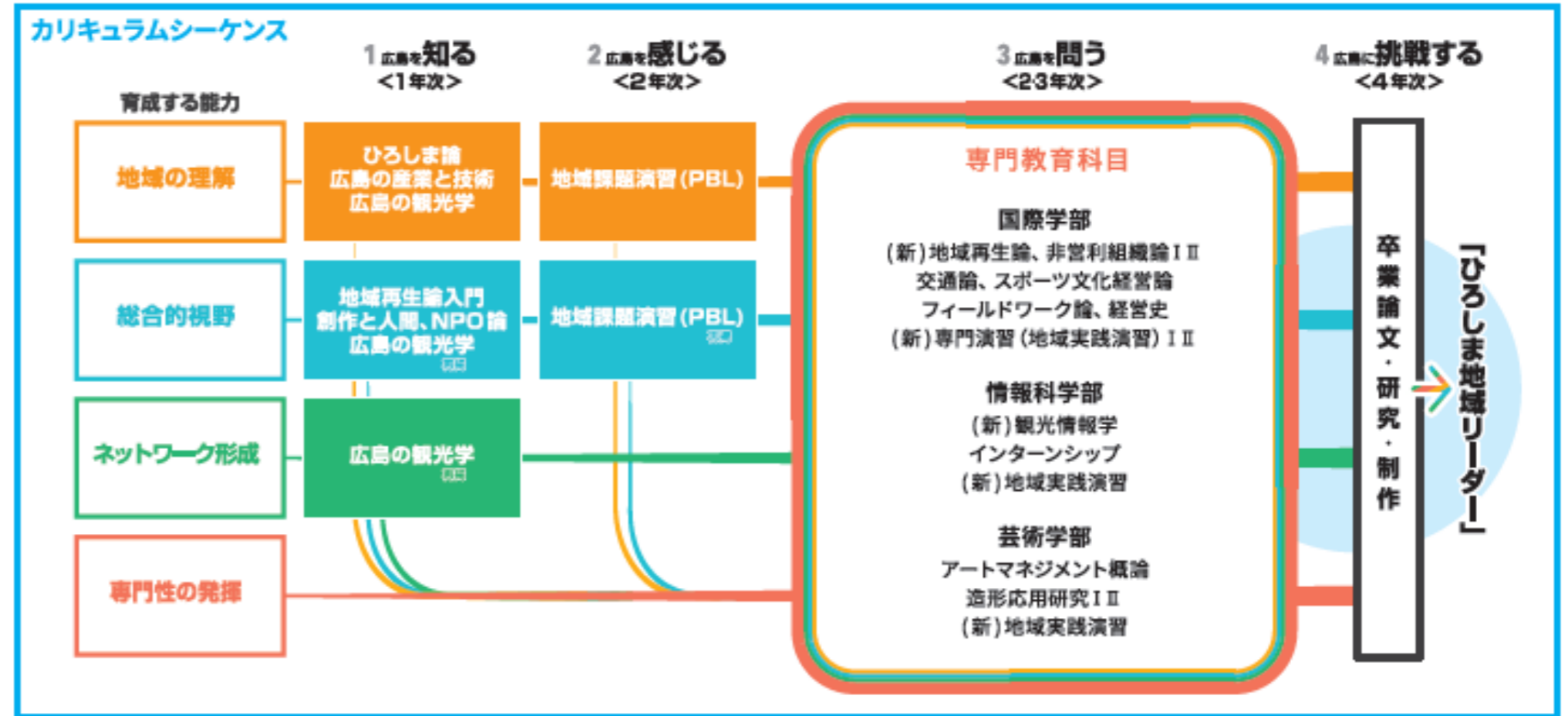
## 6 教育プログラム

本学がCOC+において実施する教育プログラム「地域貢献特定プログラム」の構成は、① 1・2 年次に、全学共通教育を通して地域志向科目により地域の特性・課題を総合的視野から学び、② 2・3 年次から、学部専門教育を通して各自の専門性を磨き、その専門性をもって課題解決に取り組み、得られた知見・成果を4年次の卒業論文・研究・制作に繋げるものとしている。

このプログラムは、地域の観光振興や活性化にとって必要な企画力、ネットワークの形成・調整能力を磨く場として事業協働機関による取組や、本学が新規に実施するアートプロジェクトにも参加できるよう構成している。またその中で、観光関連データベースの活用・フィードバックも行う。

これらによって、①広島を知る、②広島を感じる、③広島を問う、④広島に挑戦する、という4つのステップを、地域に向き合いながら学修できる内容となっている。

広島市立大学「地域貢献特定プログラム」



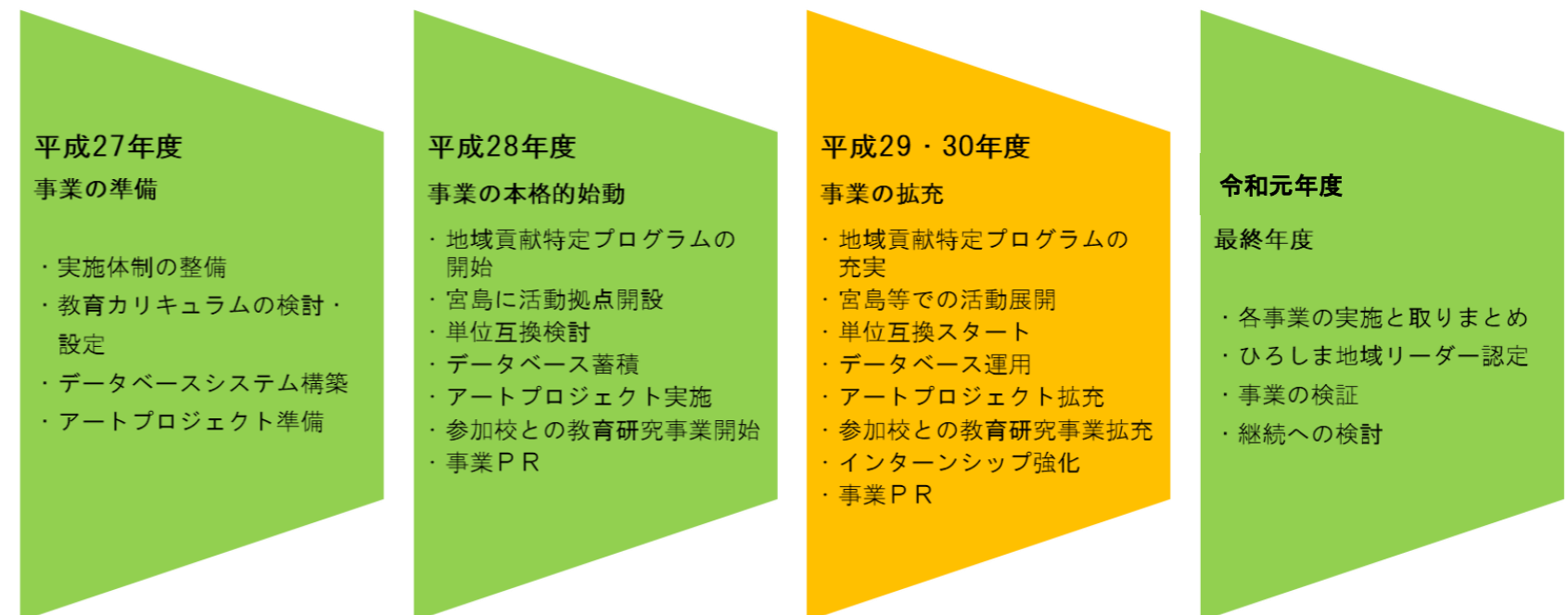
## 7 事業の年次展開

本COC+事業の補助事業期間は平成27年度から令和元年度までの5年間であり、年次ごとの事業展開の概要は右のとおりである。

各年度の事業の実施にあたっては、事業協働協議会での協議や、外部評価委員会の意見を踏まえて、「地域に愛着と誇りを持ち、地域に貢献する」人材の育成という事業目標に向けて、常に内容や成果等のチェックを行い、計画の見直しを含め柔軟に実施していく必要がある。

また、この事業の取り組みを通じて、大学の役割が、これまで以上に地域への人材定着や地域志向教育の充実へ向かうよう機能すると同時に、最終年度には事業全体の検証とともに継続性についての検討を行った。

年次ごとの展開



## 8 本事業における「観光」の範囲

本COC+事業は、観光振興をテーマにしている。「観光」をどのような概念としてとらえるかは、この事業の対象範囲に関わる基本事項である。

第1回の事業協働協議会の会議(平成27年12月24日開催)において、参加の自治体や企業がこの事業に協働しやすくするために、事業の対象範囲・分野を広げて考えることが必要である、との意見が出された。自治体においては、観光資源や入込観光客に差があり、また参加各大学等においては、観光関連の研究者が少ない状況にあり、医療・福祉系の学部のみで大学もある。こうした自治体や大学の実情に即して、観光のとらえ方を検討し、共通の活動テーマになるよう「観光」の範囲を設定する必要があった。

その前提として、観光の定義を調査した結果、国の観光政策審議会などにおいて、人の行動や対象等について、非常に広い概念でとらえられていることが分かった(下記)。

したがって、本COC+事業においても、「観光」を、狭義の観光事象だけでなく、広い意味での観光(ツーリズム・交流)や、地域の魅力づくり、活性化などへも視野を広げ、教育プログラムの実施や自治体・企業との協働の機会をできるだけ取り込めるよう取り組んだ。

### ■観光とは

国の観光政策審議会 人の行動の面からの定義

平成7年6月の答申「今後の観光政策の基本的方針について」の中で、観光を「余暇時間の中で、且日常生活圏を離れて行うさまざまな活動であって、触れ合い、学び、遊ぶということを目的とするもの」と定義している。

### ■ツーリストとは

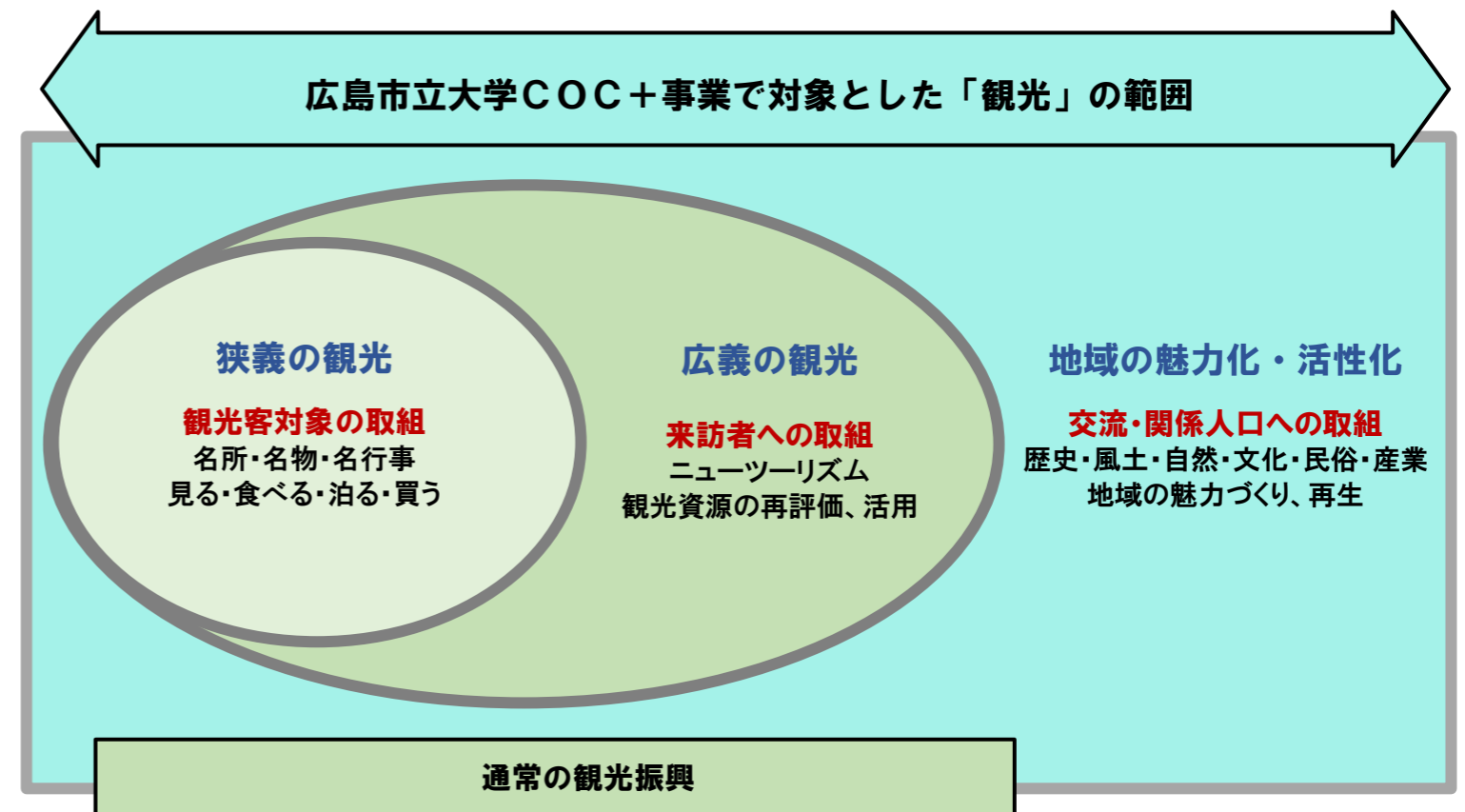
国連世界観光機関(UNWTO) ツーリストの定義

「ツーリストとは、観光、レクリエーション、ビジネス、友人・知人訪問、家事・帰省などの目的で、24時間以上、1年以内に戻ってくる旅行者をいう」。

### ■観光の対象や資源

観光立国推進基本法 (平成18年12月)

観光資源の活用による地域の特性を活かした魅力ある観光地の形成のために、「史跡、名勝、天然記念物等の文化財、歴史的風土、優れた自然の風景地、良好な景観、温泉その他文化、産業等に関する観光資源の保護、育成及び開発に必要な施策を講ずる」(第13条)としている。



9 事業実績総括表

区分	事業	事業の概要	実績				
			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1 地域志向型の教育カリキュラムの整備・推進	①「地域貢献特定プログラム」の実施	COC+による教育カリキュラム改革の中心として、地域志向科目群による新たなプログラムにより地域人材の育成を目指す。 (COC+大学)	新規科目 9 科目の決定 (COC+教育プログラム専門委員会) 地域貢献特定プログラムの H28 年度教育課程表作成 (科目数: 14 科目) 新規科目担当教員の採用を決定	地域貢献特定プログラムの全学共通系 5 科目を開講 科目数: 5 科目 履修者数: 延べ 723 名 (H28 年度入学生)  専門教育科目 9 科目の追加を決定 (プログラムの全科目数: 23 科目となる)	地域貢献特定プログラムの全学共通系科目 1 科目と「地域課題演習」、専門教育科目 11 科目を開講 科目数: 17 科目 履修者数: 延べ 1167 名 (H28・29 年度入学生) 「地域課題演習」 履修者数: 60 名 演習地域: 6 地域	地域貢献特定プログラムの専門教育科目 2 科目と「専門演習 I II」「地域実践演習」を開講 科目数: 23 科目 履修者数: 延べ 1376 名 (H28・29・30 年度入学生) 「地域課題演習」 履修者数: 54 名 演習地域: 7 地域 「地域実践演習」 履修者数: 34 名 演習数: 6 テーマ  地域貢献特定プログラム単位取得 (8 単位以上) 認定者: 36 名	地域をテーマとした卒業論文・研究・制作の実施 科目数: 23 科目 履修者数: 延べ 1256 名 (H28・29・30・R1 年度入学生) 「地域課題演習」 履修者数: 54 名 演習地域: 6 地域 「地域実践演習」 履修者数: 11 名 演習数: 4 テーマ  地域貢献特定プログラム単位取得認定者: 14 名 広島地域リーダーの認定 17 名
	②COC+単位互換の実施	COC+参加各校の地域志向科目を相互に提供し、新たな単位互換制度を設ける。 (COC+大学と参加校)	—	実施方法の検討 (協働協議会・教育プログラム開発委員会) 1 月「COC+事業参加大学間の単位互換に関する協定」締結	科目提供校: 6 大学 科目数: 17 科目	科目提供校: 7 大学 科目数: 18 科目	科目提供校: 6 大学 科目数: 22 科目
	③寄付講座の開講	事業協働機関を中心とした地域企業等からの寄付講座を開講し産学連携や学生の地域志向に資する。 (COC+大学と参加校)	COC+大学 0 講座【目標 1 講座】 全体 8 講座【目標 13 講座】	COC+大学 0 講座【目標 1 講座】マツダ(株)との協議 全体 15 講座【目標 13 講座】	COC+大学 1 講座【目標 2 講座】 全体 20 講座【目標 17 講座】	COC+大学 1 講座【目標 2 講座】 全体 22 講座【目標 17 講座】	COC+大学 1 講座【目標 3 講座】 全体 23 講座【目標 21 講座】
	④全学 COC+研修会の開催	FD・SD 研修として実施し、事業推進や地域教育への理解を深める。 (COC+大学)	3 月「広島大学生物生産学部の COC 事業について」 参加者数: 68 名	10 月「広島広域都市圏構想について」 参加者数: 98 名 3 月「広島修道大学の地域志向教育プログラムについて」 参加者数: 79 名 (動画を学内 Web 配信)	11 月「地域課題演習・初年度の報告」 参加者数: 65 名 3 月「広島経済大学の興動館教育プログラムについて」 参加者数: 30 名	12 月「高知県立大学の地域社会志向教育について」 参加者数: 37 名 3 月「地域貢献特定プログラムの成果と課題」 参加者数: 58 名	1 月「横浜市立大学の COC 事業の成果と地域貢献・人材開発」 参加者数: 74 名 3 月「COC+事業の報告と終了後の継続に向けて」(新型コロナウイルスの影響により延期)
2 観光関連データベースの構築・活用	①データベースの構築	事業協働地域の観光に関するさまざまなデータを収集し、教育研究活動や参加機関にも利用可能なデータベースを構築する。 (COC+大学と協働機関)	WG 技術メンバーによる仕様策定・決定 業者へシステム構築依頼・構築 サンプルデータを 6000 件程度登録	観光 DB トライアル運用の開始 (課題抽出) 未提供機能の追加構築 (他システム連携 API) 追加機能の検討と仕様出し	DB システム運用開始と機能拡張の実施 自治体・企業等からの観光関連データの調査・収集	観光関連データ約 60 万件登録 DB 利用マニュアル作成自治体・企業等からの観光関連データの調査・収集継続	COC+事業完了に向けクラウド運用からの移行検討 学内専用システムへの移行の実施
	②データベースの活用	収集・登録したデータを大学における教育研究や協働機関との調査研究に活用する。 (COC+大学と協働機関)	観光関連データベース WG の設置 事業協働機関への周知と情報提供依頼	観光 DBWG 開催各学部専門教員との必要データ検討 機関への訪問説明と情報提供依頼	DB を活用した試験的研究・事業・プロジェクトの検討・実施準備 地域課題演習・観光情報学にてトライアル運用 利用規約の作成	DB 公開の開始 事業協働機関への公開	R 元年 12 月より学内運用に切り替え

区分	事業	事業の概要	実績				
			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
3 アートプロジェクト等の教育研究事業の実施	①アートプロジェクトの実施	事業協働地域の資源や観光のポテンシャルをアート表現によって活性化させるため、芸術教育の一環として、地域展開型のアートプロジェクト(制作・展示)を実施する。(COC+大学と参加校、自治体)	実施方法の検討、候補地域の選定 (アートプロジェクトワーキンググループ) 1 地域(広島市基町) 1 プロジェクトを実施 参加者数: 800 人 【目標 500 人】	全体のコンセプトを「広島ニュートラベル」と設定 2 地域(廿日市市、広島市) 7 プロジェクトを実施 参加者数: 2768 人 【目標 2000 人】	5 地域(廿日市市、広島市、尾道市、北広島町、安芸太田町) 10 プロジェクトを実施 参加者数: 3258 人 【目標 3000 人】	6 地域(廿日市市、広島市、尾道市、柳井市、北広島町、安芸太田町) 10 プロジェクトを実施 参加者数: 4463 人 【目標 2000 人】	6 地域(廿日市市、広島市、尾道市、呉市、東広島市、柳井市) 7 プロジェクトを実施 参加者数: 6130 人 【目標 2500 人】
	②活動拠点の整備・活用	地域での教育研究活動を進めるためのサテライト拠点を 2 か所設け運営する。 (COC+大学と参加校)	基町プロジェクト M98 (H26 年度に交流スペース開設) サテライトハウス宮島 (候補物件調査)	基町プロジェクト M98 ・学生による空き店舗のリノベーション M98make(工房) M98eat(キッチン) サテライトハウス宮島 ・古民家の賃貸借契約と一部改修工事	基町プロジェクト M98 ・学生による空き店舗のリノベーション M98join(展示交流スペース) サテライトハウス宮島 ・開設記念展 6 月 ・本格的な活用開始	基町プロジェクト M98 ・4 つのスペースを活用した事業展開、参加校協働事業 サテライトハウス宮島 ・アート P 作品制作、展示、現地学習、市民講座等に活用	基町プロジェクト M98 ・空き店舗のリノベーションにより新たに Unité(展示販売スペース)を整備 サテライトハウス宮島 ・作品制作、展示、現地学習、市民講座等に活用
	③参加校による協働研究事業の実施	参加校が地域での調査研究、講座、作品制作、地域支援などにより、学生の地域学習を、協働または単独で行う。 (参加校と自治体)	実施準備	調査研究(広島大学、広島経済大学)、講座(尾道市立大学、広島工業大学)、地域支援等(広島修道大学、安田女子大学、広島国際大学、広島商船高等専門学校)	調査研究(広島大学、広島経済大学)、講座(広島工業大学)、アートプロジェクト(尾道市立大学)、地域支援等(広島修道大学、安田女子大学、広島国際大学、広島商船高等専門学校)	調査研究(広島大学、広島経済大学)、講座(広島工業大学)、アートプロジェクト(尾道市立大学)、地域支援等(広島修道大学、安田女子大学、広島国際大学、広島商船高等専門学校)	調査研究(広島大学、広島経済大学)、講座(広島工業大学)、アートプロジェクト(尾道市立大学)、地域支援等(広島修道大学、安田女子大学、広島国際大学、広島商船高等専門学校)
	④大学連携による学生の観光研究・活動発表会	学生の地域観光に関する学習・研究意欲を高めるため、大学間交流として様々な分野の成果を持ち寄り発表する。 (COC+大学と参加校、協力校)	—	企画、実施準備	第 1 回開催 12 月 会場: 広島経済大学宮島セミナーハウス 参加大学: 7 大学 発表テーマ数: 14 テーマ 参加者数: 学生 65 名、教員 24 名	第 2 回開催 12 月 会場: 広島経済大学宮島セミナーハウス 参加大学: 7 大学 発表テーマ数: 12 テーマ 参加者数: 学生 64 名、教員 21 名	第 3 回開催 12 月 会場: 広島市西区民文化センター 参加大学: 6 大学 発表テーマ数: 10 テーマ 参加者数: 学生 56 名、教員 19 名
	⑤COC+特色研究等の実施	教員の学内の競争的研究資金として COC+特色研究、社会連携プロジェクト費を公募実施。学生の社会貢献を支援する市大生チャレンジ事業を実施。(COC+大学)	—	COC+特定研究 3 件 社会連携プロジェクト 5 件 市大生チャレンジ事業 4 件	COC+特定研究 2 件 社会連携プロジェクト 5 件 市大生チャレンジ事業 2 件	COC+特色研究(名称変更) 2 件 社会連携プロジェクト 6 件 市大生チャレンジ事業 3 件	COC+特色研究 3 件 社会連携プロジェクト 6 件 市大生チャレンジ事業 5 件
	⑥サテライト講座の開催	高校生の地域内進学を促進するため、柳井広域圏(1 市 4 町)の高校生や保護者等を対象に、公開講座を実施。(COC+大学と自治体)	—	開催準備 (社会連携委員会)	講座開催 3 回 参加者数: 32 名	講座開催 3 回 参加者数: 53 名	講座開催 3 回 参加者数: 44 名
	4 インターンシップの強化	①インターンシップの実施	協働機関や地元企業の協力を得て、地域内企業・団体へのインターンシップを促進する。学生の地元企業理解の事業等を積極的に行う。 (COC+大学と参加校、協働機関)	事業協働機関へのインターンシップ数: COC+大学 44 名 【目標 62 名】 全体 1400 名【目標 1244 名】	COC+大学 50 名 【目標 64 名】 全体 1227 名【目標 1258 名】	COC+大学 58 名 【目標 66 名】 全体 1286 名【目標 1272 名】 新たな企業訪問事業(中経連と協働) 83 名参加 地元企業経営者パネル討論会、73 名参加	COC+大学 59 名 【目標 68 名】 全体 1109 名【目標 1286 名】 企業訪問事業(中経連と協働) 51 名参加 地元企業経営者パネル討論会、69 名参加

区分	事業	事業の概要	実績				
			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
4 インターンシップの強化	②キャリア教育の見直し	教育課程のキャリア形成支援科目の見直しを行い、インターンシップ、就職への実践的な指導を実施。(COC+大学)	—	—	改善の必要性検討(就職・インターンシップワーキンググループ)	全学共通系のキャリア形成支援科目の見直し作業「キャリアデザインⅠⅡ」、「キャリアサポートベーシックAB」を新設	新規科目「キャリアデザインⅠⅡ」の開講 履修者数：65名
5 事業運営等	①事業協働協議会の運営	事業協働協議会、67 機関(大学 9 校、自治体 25 市町、企業団体 33 機関)への事業の進捗状況の報告と年度計画の協議等を行い、円滑に事業を推進する。(COC+大学と協働機関)	事業協働協議会(66 機関)の設立会議の開催、12 月参加機関数：66	事業協働協議会の開催、1 月参加機関数：37(65 人)	事業協働協議会(67 機関となる)の開催、1 月参加機関数：31(48 人) 新規加入：しまなみジャパン事業の一部を協力する大学：比治山大学	事業協働協議会の開催、1 月参加機関数：26(43 人)	事業協働協議会の開催 1 月参加機関数：23(45 人)
	②学内推進組織の運営	学内の COC+実施特別委員会や運営部会、COC+教育プログラム実施専門委員会、分野別ワーキング会議により検討を行い、事業を推進する。社会連携センターに専任のスタッフ(特任教員)を置く。(COC+大学)	学内推進組織の準備、委員会等設置 専任の特任教員 2 名雇用	運営部会 28 回 各委員会・ワーキング会議を適宜開催 専任の特任教員 4 名追加雇用(計 6 名)	運営部会 19 回 各委員会・ワーキング会議を適宜開催 専任の特任教員 6 名雇用	運営部会 11 回 各委員会・ワーキング会議を適宜開催 専任の特任教員 6 名雇用	運営部会 10 回 各委員会・ワーキング会議を適宜開催 専任の特任教員 6 名雇用
	③COC+フォーラムの開催	事業協働協議会の主催により、広く一般の参加を呼びかけ、COC+を契機とした観光や地域活性化等について、課題や知見を共有した。(協働機関)	キックオフフォーラム 2016 「出でよ若者・愛でるは地元」 会場：ホテルグランピア広島 3 月、参加者数：220 人 【目標 200 人】	フォーラム 2017 「つながれば始まる」 会場：広島国際会議場 1 月、参加者数：174 人 【目標 100 人】	フォーラム 2018 「しなやかな地域づくり」 会場：広島市総合福祉センター 1 月、参加者数：90 人 【目標 100 人】	フォーラム 2019 「ICT による観光情報を活用した観光振興」 会場：広島市総合福祉センター 11 月、参加者数：67 人 【目標 100 人】	最終フォーラム 「COC+事業報告と広島広域都市圏の観光振興の展望」 会場：広島市総合福祉センター 1 月、参加者数：90 人 【目標 200 人】
	④広報活動	COC+ニュースレター「つながり通信」の発行、COC+ホームページの発信、事業紹介パンフレット等による広報を実施。(COC+大学)	ニュースレター発行(3000 部)2 回 ホームページ「広島市立大学 COC+Area25」コンテンツ作成	ニュースレター発行(3000 部)3 回 ホームページの発信、6 月～ 閲覧数 14,635 件	ニュースレター発行(3000 部)3 回 ホームページの発信 閲覧数 17,609 件 事業活動紹介パンフレット「地域に目覚める」発行(5000 部)10 月	ニュースレター発行(3000 部)2 回 ホームページの発信 閲覧数 12,911 件	ニュースレター発行(3000 部)2 回の 合併号発行 ホームページの発信 閲覧数 11,873 件
	⑤事業報告書の作成	各年度の事業報告書を刊行し関係機関に配布。(COC+大学)	—	COC+REPORT/2016 刊行、 H29 年 5 月(500 部)	COC+REPORT/2017 刊行、 H30 年 7 月(500 部)	COC+REPORT/2018 刊行、 R 元年 7 月(400 部)	COC+REPORT/2015 - 2019 刊行、R2 年 6 月(600 部)
	⑥事業評価	COC+外部評価委員会(委員は教育、調査研究、観光、芸術の各分野の有識者 5 名)により評価を受ける。事業協働機関による事業への満足度の評価を受ける。(COC+大学)	外部評価委員会の設置準備 事業満足度：未調査	外部評価委員会の設置及び H27 年度事業の評価「B:計画に沿った実績となっている」 7 月 事業満足度：97.9% 【目標 100%】	外部評価委員会による H28 年度事業の評価「A:計画を上回った実績となっている」 7 月 事業満足度：100% 【目標 100%】	外部評価委員会による H29 年度事業の評価「A:計画を上回った実績となっている」 7 月 事業満足度：100% 【目標 100%】	外部評価委員会による H30 年度事業の評価「A:計画を上回った実績となっている」 令和元年 7 月 R 元年度事業及び事業全体の評価「A:計画を上回った実績となっている」 令和 2 年 6 月(書面審査) 事業満足度：100% 【目標 100%】



10 プロジェクトマップ

# 地域に貢献する人材の育成 COC+地域志向教育・研究・活動の広がり H28・29・30・R元年度のプロジェクトマップ

**現場で地域の魅力と課題を学ぶ**

**[地域課題演習]**

- 29年 30年 既年 瀬戸内海の水産・海の魅力を知る(呉市など)
- 既年 安芸灘どじしま海道ボタリングの旅(呉市)
- 29年 30年 竹原市をPRする観光映像を制作(竹原市)
- 29年 30年 しまなみ海道の行動情報の収集(尾道市)
- 29年 中山間地のライフスタイルを知る(安芸高田市)
- 29年 周防大島の島暮らしを体験する(周防大島町)
- 既年 地方移住のライフスタイルを知る(平生町)
- 29年 半島地域の歴史等を知る(上関町)
- 29年 尾道の歴史・文化を探访する(尾道市)
- 30年 既年 都市河川のリバーツーリング(広島市)
- 30年 世羅高原の6次産業を訪ねる(世羅町)
- 30年 離島の非日常性を体感する(三原市)
- 既年 御手洗の建築遺産とリノベーションを体感(呉市)

**専門性を生かして  
地域での研究・活動を実践する**

**[地域実践演習]**

- 30年 祝島フィールドワーク(上関町)
- 30年 既年 土砂災害情報の効率的配信(広島市)
- 30年 既年 音声対話技術でベッパーが観光案内(広島市)
- 30年 視覚造形演習(広島市)
- 30年 彫刻演習(北広島町)
- 30年 日本画演習(廿日市市)
- 既年 漆造形演習(東広島市)

**社会連携プロジェクトや  
地域貢献活動(主なもの)**

- 28年 広島広域都市圏の鳥瞰図の制作(エリア内)
- 28年 厳島八景に関する教育事業(廿日市市)
- 29年 30年 しまなみ観光サイクリストの行動情報収集(尾道市)
- 29年 既年 観光情報ツールを活用した観光振興(岩国市)
- 29年 30年 空き家再生による人材教育事業(尾道市)
- 30年 広島市の文化財を学ぶ教育プロジェクト(三原市)
- 既年 クロダイの記録技術に関する研究(呉市)
- 既年 観光分野における政策形成人材開発プログラム(エリア内)
- 既年 広島水迎活性化プロジェクト(広島市)
- 29年 30年 ホテルグランヴィア広島での壁画制作(広島市)
- 30年 安佐動物公園モニュメント制作(広島市)

**活動拠点の整備・活用**

- 28年 29年 30年 既年 基町プロジェクト「M98」(広島市)
- 28年 29年 30年 既年 サテライトハウス宮島(廿日市市)

**芸術活動により人をいざない交流する**

**[アートプロジェクト]**

- 29年 木版による宮島双六マップの制作/油絵専攻(廿日市市)
- 29年 30年 既年 宮島ろくろの技術習得による伝統産業の継承/漆造形(廿日市市)
- 29年 染織による宮島での空間演出/染織造形(廿日市市)
- 30年 宮島金工プロジェクト/金属造形(廿日市市)
- 28年 29年 30年 既年 基町プロジェクト/合同(広島市)
- 29年 観光客に伝えたい広島のビジュアル制作/視覚造形(広島市)
- 30年 西国街道に設置するマンホールデザインの制作/視覚造形(広島市)
- 29年 30年 NHK「ヒバクシャからの手紙」映像制作/映像メディア造形(広島市)
- 既年 広島仏壇プロジェクト/漆造形(東広島市)
- 29年 30年 篠津芸術村での彫刻制作/彫刻専攻(北広島町)
- 30年 たたら製鉄の学習と鉄作品の制作/金属造形(安芸太田町)
- 30年 地域の歴史・伝統をテーマにした染織の制作/染織造形(安芸太田町)
- 30年 既年 金魚ちょうちんの作品制作による祭り参加/立体造形(柳井市)
- 29年 30年 既年 空き家再生プロジェクト/現代表現(尾道市)
- 29年 30年 日本画風景プロジェクト/日本画専攻(尾道市)
- 既年 宮島・基町プロジェクト/合同(広島市)

**観光調査、講座、地域支援活動など**

**[参加8校による教育研究事業]**

- 28年 大型クルーズ客船寄港と地域経済への影響(広島大学)(広島市)
- 29年 世界遺産宮島弥山原生林の保全と活用(広島大学)(廿日市市)
- 30年 既年 コンテンツツーリズムによる地域活性化(広島大学)(呉市)
- 29年 30年 既年 空き家再生によるアートプロジェクト(尾道市立大学)(尾道市)
- 28年 29年 30年 既年 学生による観光資源の再発見と発信(広島経済大学)(呉市・上関町など)
- 28年 29年 30年 既年 宮島・土曜講座(広島工業大学)(廿日市市)
- 28年 29年 30年 既年 中山間地域と島しょ部交流(広島国際大学)(安芸太田町・東広島市)
- 28年 29年 30年 既年 もとまちカフェ(広島修道大学)(広島市)
- 28年 29年 30年 既年 グローバルキッチンプロジェクト(安田女子大学)(広島市・北広島町)
- 28年 企業研究会(広島商船高等専門学校)(エリア内)
- 29年 30年 既年 高齢者健康調査(広島商船高等専門学校)(大崎上島町)

**観光に関する大学間交流事業**

- 29年 30年 既年 大学連携による学生の観光に関する研究・活動発表会(7大学)(廿日市市・広島市)

**高校生の地域内進学を促進**

- 29年 30年 既年 サテライト講座の実施(広島市立大学)(柳井広域圏1市4町)

**広島発の新たな価値を生み出す人材育成**

**[寄付講座]**

- 29年 30年 既年 マツダ・広島市立大学芸術学部共創ゼミ(広島市)

基町プロジェクト「M98」

サテライトハウス宮島